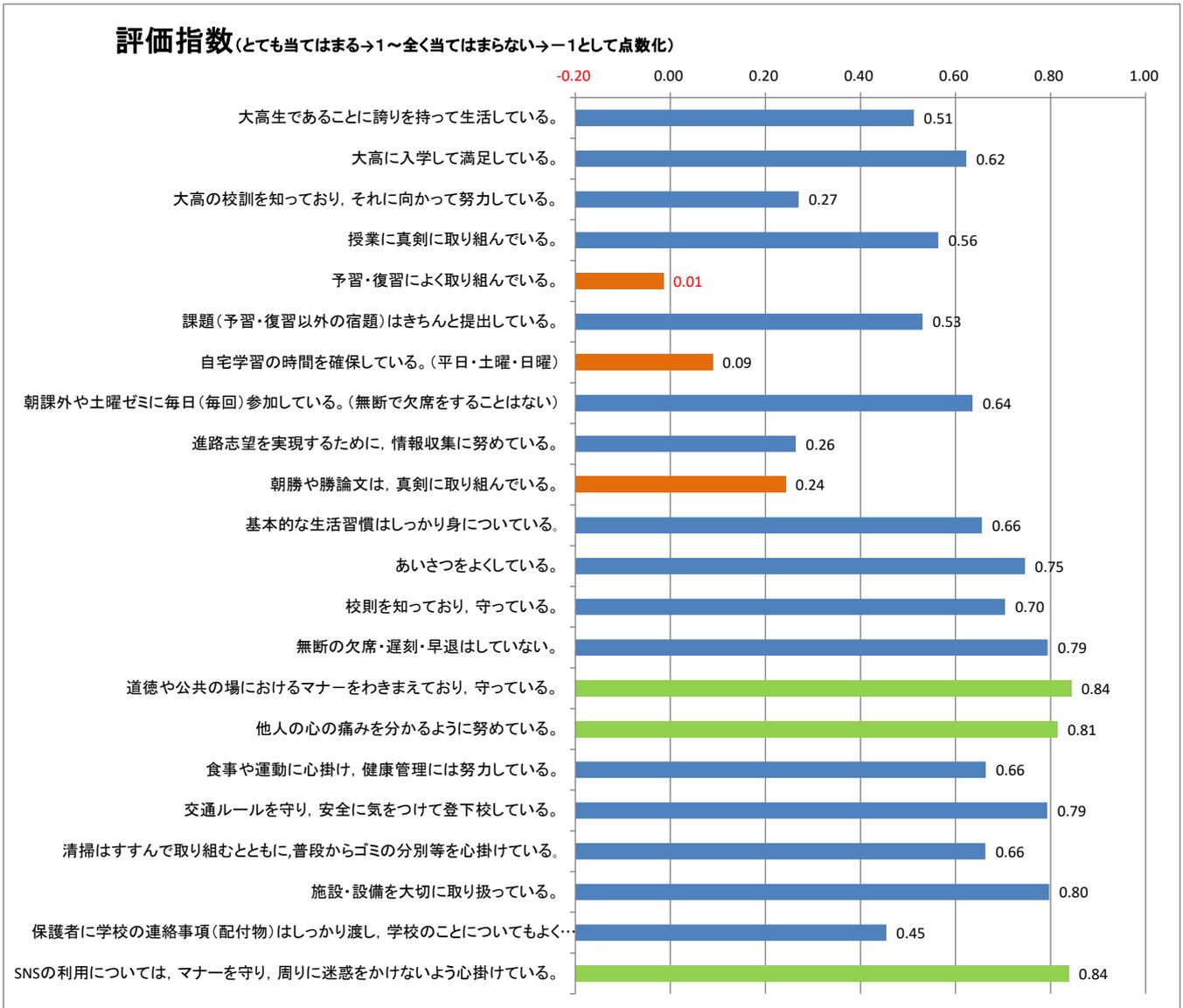


令和元年度 第2回 学校生活に関する自己評価(生徒用)集計結果 1年(12月実施)



● 自己評価の高かった項目

第1位→ 道徳や公共の場におけるマナーをわきまえており、守っている。

第1位→ SNSの利用については、マナーを守り、周りに迷惑をかけないように心掛けている。

第3位→ 他人の心の痛みを分かるように努めている。

● 自己評価の低かった項目

第1位→ 予習・復習によく取り組んでいる。

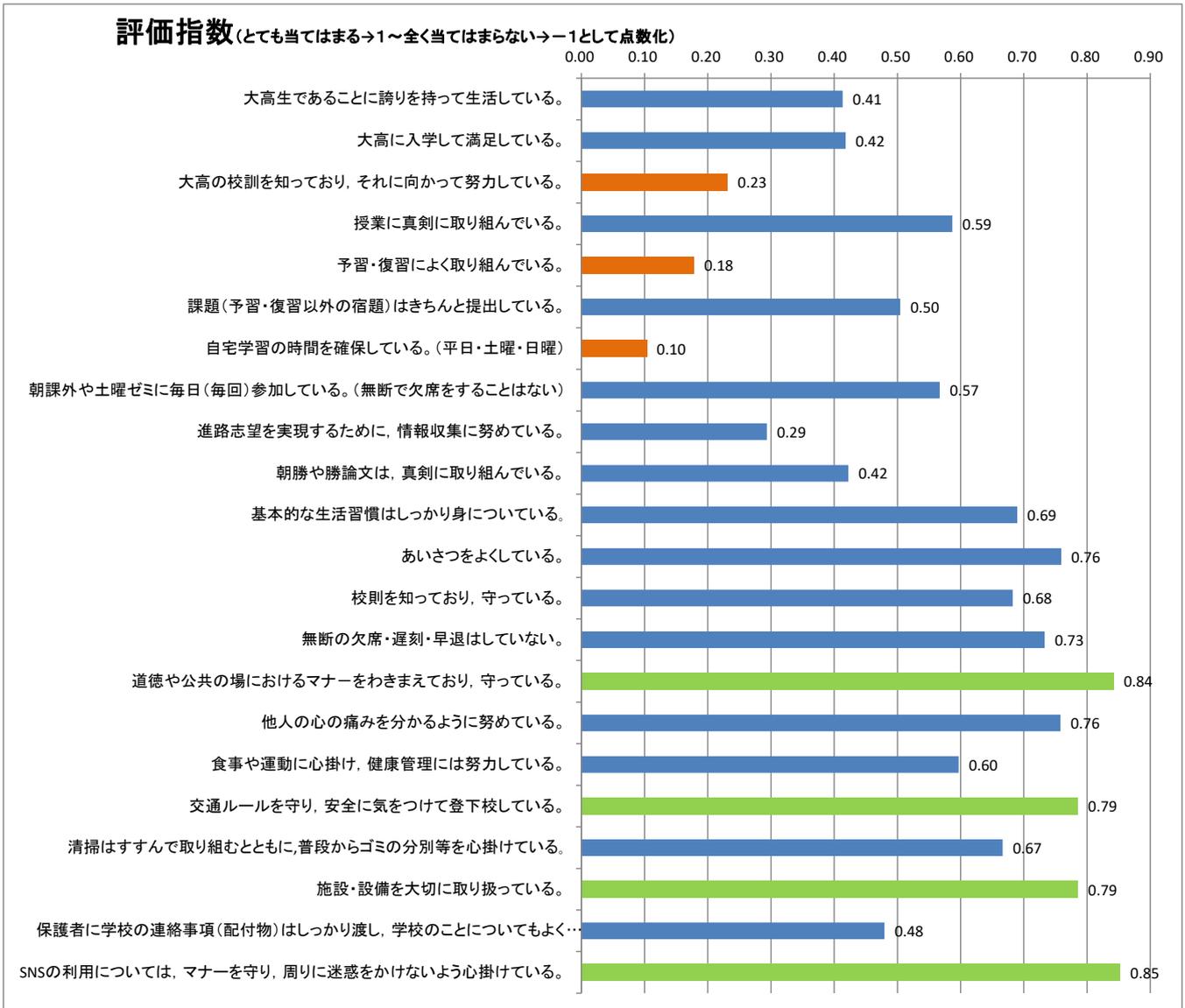
第2位→ 自宅学習の時間を確保している。(平日・土曜・日曜)

第3位→ 朝勝や勝論文は、真剣に取り組んでいる。

● 分 析

自己評価の高い項目を見ると、マナーを守ることや他人のことを理解しようとする意識を持っていることがわかる。自己評価が低い項目を見ると、すべてが学習に関するものである。保護者・生徒ともに学習への取り組みが不十分であることを認識しているようである。

令和元年度 第2回 学校生活に関する自己評価(生徒用)集計結果 2年(12月実施)



● 自己評価の高かった項目

- 第1位→ SNSの利用については、マナーを守り、周りに迷惑をかけないように心掛けている。
- 第2位→ 道徳や公共の場におけるマナーをわきまえており、守っている。
- 第3位→ 交通ルールを守り、安全に気をつけて登下校している。
- 第3位→ 施設・設備を大切に扱っている。

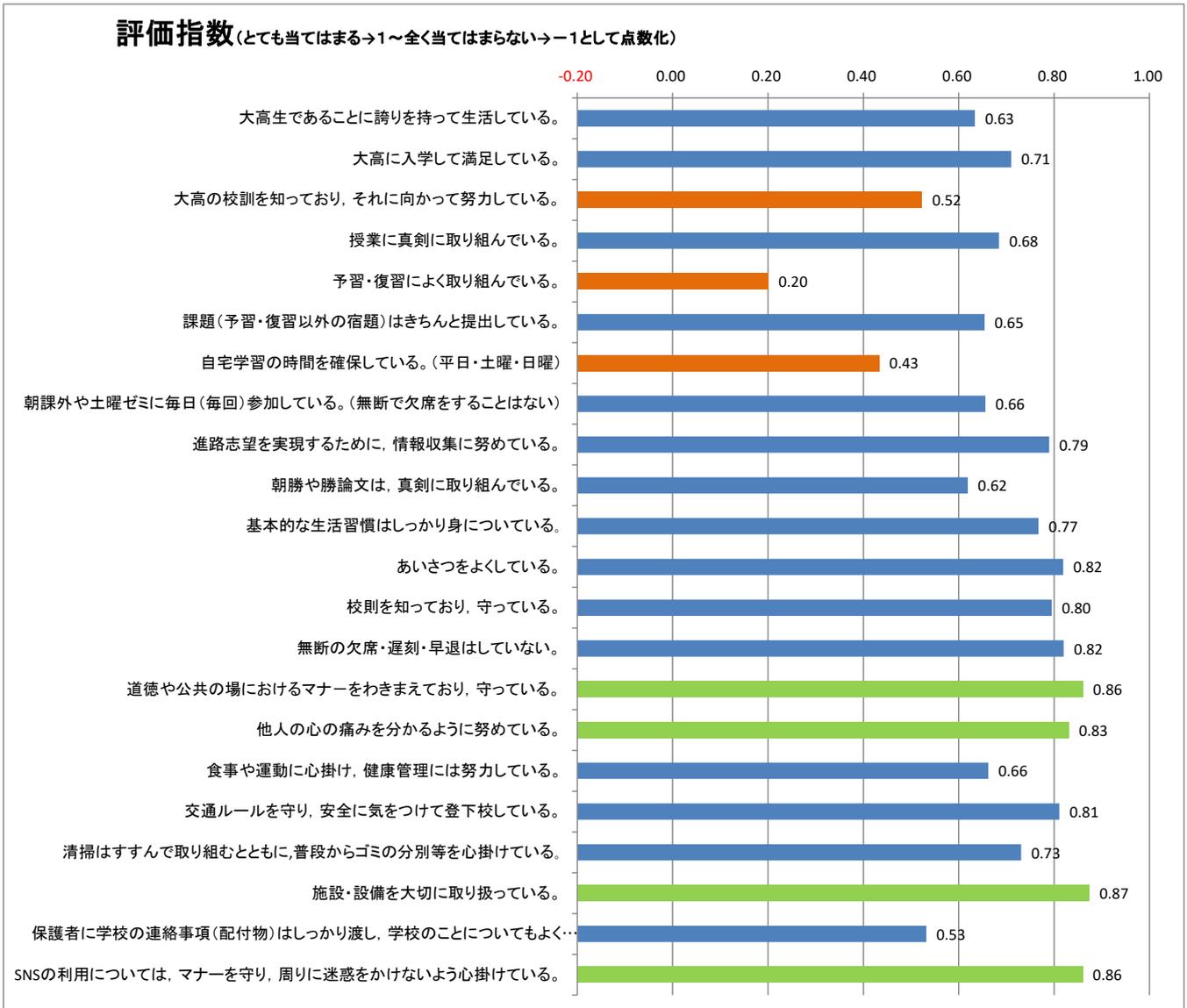
● 自己評価の低かった項目

- 第1位→ 自宅学習の時間を確保している。(平日・土曜・日曜)
- 第2位→ 予習・復習によく取り組んでいる。
- 第3位→ 大高の校訓を知っており、それに向かって努力している。

● 分析

自己評価の高い項目、低い項目は前回の時とほぼ同内容の結果になっている。また、どの学年もほとんど共通した結果になっている。1年次のものと比べても学習に関する意識・取り組みは大きくは変わっていないことがわかる。

令和元年度 第2回 学校生活に関する自己評価(生徒用)集計結果3年(12月実施)



● 自己評価の高かった項目

- 第1位→ 施設・設備を大切に扱っている。
- 第2位→ 道徳や公共の場におけるマナーをわきまえており、守っている。
- 第2位→ SNSの利用については、マナーを守り、周りに迷惑をかけないように心掛けている。
- 第4位→ 他人の心の痛みを分かるように努めている。

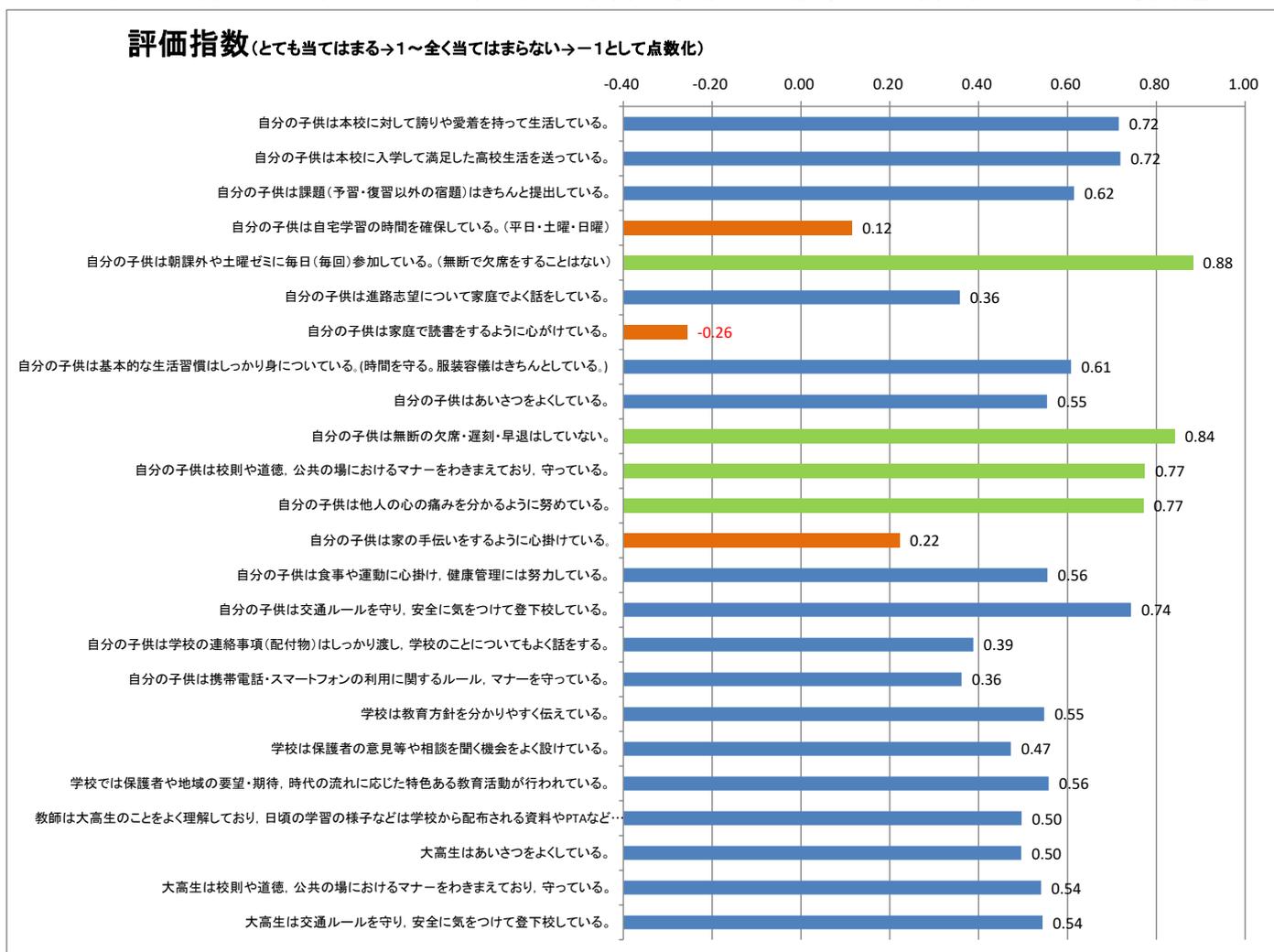
● 自己評価の低かった項目

- 第1位→ 予習・復習によく取り組んでいる。
- 第2位→ 自宅学習の時間を確保している。(平日・土曜・日曜)
- 第3位→ 大高の校訓を知っており、それに向かって努力している。

● 分析

マナーを守ったり、施設を大切にしようという意識は全学年を通して持ち合わせているようである。しかし、保護者からのアンケート結果ではマナーについての指摘もあるため、意識と取り組みのギャップもある。自己評価の低い項目は、他学年と同様に学習の取り組みについてのものである。学習習慣を確立させるための全体的な取り組みが求められる。

令和元年度 第2回 学校生活に関する自己評価(保護者用)集計結果 1年(12月実施)



● 評価の高かった項目

- 第1位→ 自分の子供は朝課外や土曜ゼミに毎日(毎回)参加している。(無断で欠席をすることはない)
- 第2位→ 自分の子供は無断の欠席・遅刻・早退はしていない。
- 第3位→ 自分の子供は校則や道徳、公共の場におけるマナーをわかまえており、守っている。
- 第3位→ 自分の子供は他人の心の痛みを分かるように努めている。

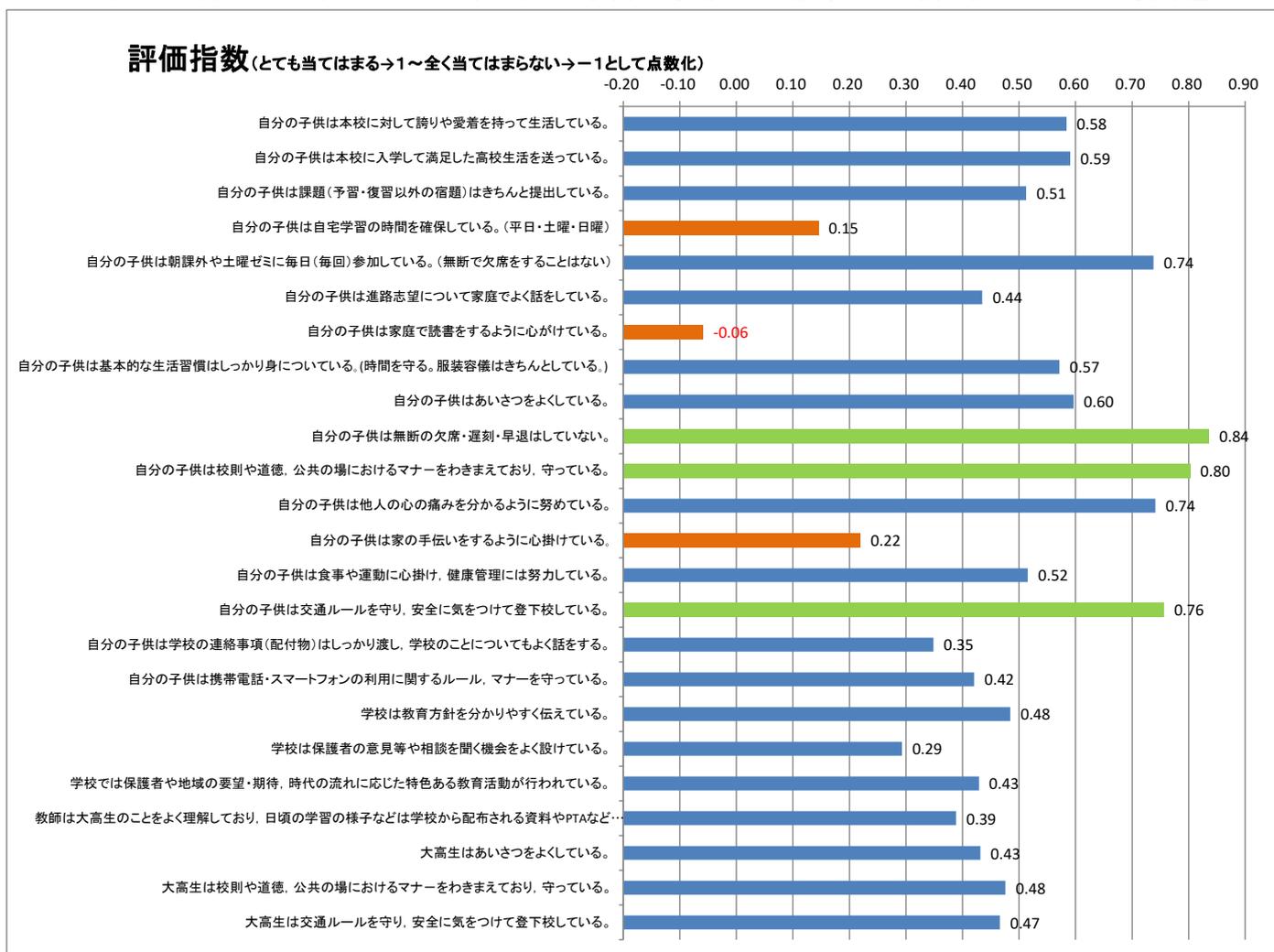
● 評価の低かった項目

- 第1位→ 自分の子供は家庭で読書をするように心がけている。
- 第2位→ 自分の子供は自宅学習の時間を確保している。(平日・土曜・日曜)
- 第3位→ 自分の子供は家の手伝いをするように心掛けている。

● 分析

評価の高い項目、低い項目ともに前回とほぼ同様の結果となっている。学習習慣については、生徒・保護者・職員のすべてから取り組みについて改善すべきという意見(結果)が出ている。次年度に向けて、特に力を入れた対策が求められる。

令和元年度 第2回 学校生活に関する自己評価(保護者用)集計結果 2年(12月実施)



● 評価の高かった項目

- 第1位→ 自分の子供は無断の欠席・遅刻・早退はしていない。
- 第2位→ 自分の子供は校則や道徳、公共の場におけるマナーをわかまえており、守っている。
- 第3位→ 自分の子供は交通ルールを守り、安全に気をつけて登下校している。

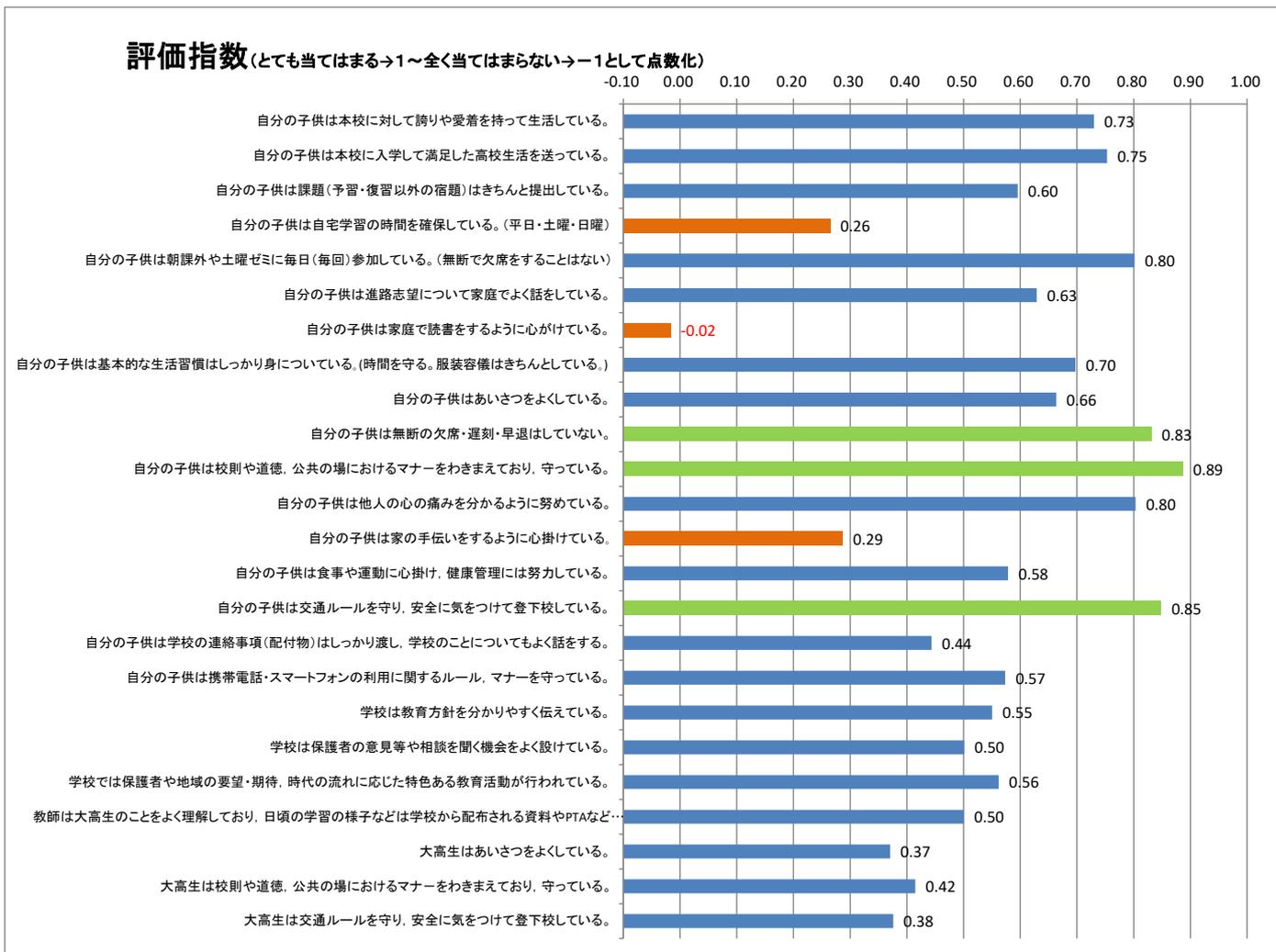
● 評価の低かった項目

- 第1位→ 自分の子供は家庭で読書をするように心がけている。
- 第2位→ 自分の子供は自宅学習の時間を確保している。(平日・土曜・日曜)
- 第3位→ 自分の子供は家の手伝いをするように心掛けている。

● 分析

評価の高い項目、低い項目ともに前回とほぼ同じ結果が出ている。また、保護者からの意見では、なかなか学校・生徒の様子を知る機会がないというものがあった。Classiやブログを用いて頻繁に情報は発信しているので、そのことをさらに保護者に周知をしたい。

令和元年度 第2回 学校生活に関する自己評価(保護者用)集計結果3年(12月実施)



● 評価の高かった項目

第1位→ 自分の子供は校則や道徳、公共の場におけるマナーをわかまえており、守っている。

第2位→ 自分の子供は交通ルールを守り、安全に気をつけて登下校している。

第3位→ 自分の子供は無断の欠席・遅刻・早退はしていない。

● 評価の低かった項目

第1位→ 自分の子供は家庭で読書をするように心がけている。

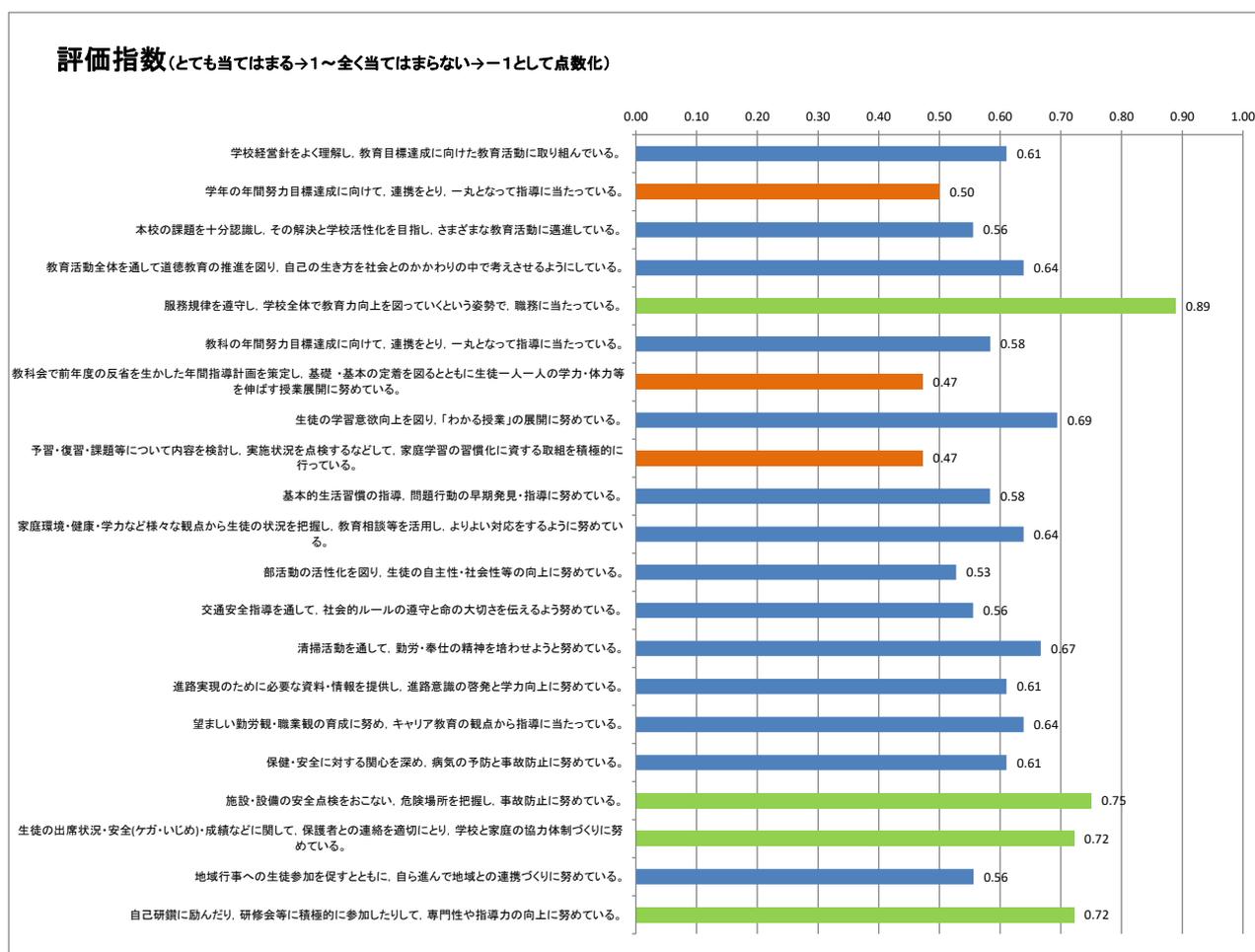
第2位→ 自分の子供は自宅学習の時間を確保している。(平日・土曜・日曜)

第3位→ 自分の子供は家の手伝いをするように心掛けている。

● 分析

交通ルールやマナーについて高い評価が出ている一方で、一部の生徒は守れていないことが指摘されている。また、生徒の交通ルール・マナーだけではなく、保護者による車での送迎についても改善すべきとの意見がある。評価の低い項目を見ると、3年生になっても依然として学習面での取り組みが改善されていないとの意見が多い。

令和元年度 第2回 自己評価(職員用)集計結果(12月実施)



● 自己評価の高かった項目

- 第1位 服務規律を遵守し、学校全体で教育力向上を図っていくという姿勢で、職務に当たっている。
- 第2位 施設・設備の安全点検をおこない、危険場所を把握し、事故防止に努めている。
- 第3位 自己研鑽に励んだり、研修会等に積極的に参加したりして、専門性や指導力の向上に努めている。
- 第3位 生徒の出席状況・安全(ケガ・いじめ)・成績などに関して、保護者との連絡を適切にとり、学校と家庭の協力体制づくりに努めている。

● 自己評価の低かった項目

- 第1位 予習・復習・課題等について内容を検討し、実施状況を点検するなどして、家庭学習の習慣化に資する取組を積極的に行っている。
- 第1位 教科会で前年度の反省を生かした年間指導計画を策定し、基礎・基本の定着を図るとともに生徒一人一人の学力・体力等を伸ばす授業展開に努めている。
- 第3位 学年の年間努力目標達成に向けて、連携をとり、一丸となって指導に当たっている。

● 分析

自己評価の高い項目から、生徒の学習環境づくりに留意していることがうかがえる。また、前回と比べて清掃活動(0.48→0.67)や交通安全(0.38→0.56)についての自己評価が向上している。その一方で、学習に関しての意識・取り組みについては自己評価が低いという結果が出ている。特に「予習・復習・課題等について内容を検討し、実施状況を点検するなどして、家庭学習の習慣化に資する取組を積極的に行っている。」に関しては、生徒や保護者のアンケートと同様、大きな課題がある。状況改善のために、少し思い切った策が必要かもしれない。